

科目名	プログラミング基礎 I		英文表記	Programming I		H23.3.18	
科目コード	1203						
教員名：金城伊智子，杉本和英 技術職員名：佐竹卓彦						作成	
対象学科／専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態
情報通信システム工学科			1年	必	履修	2単位	講義
目標及び評価方法	目標項目			評価方法及びその割合			
	①C言語の基本構文を理解する。 ②プログラムをコーディングし、コンパイルして実行するまでの手順を習得する。			①定期試験 (60%) ②プログラム演習 (40%)			
高専目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称		
	○		◎		JABEEプログラム教育目標		
授業概要、方針、履修上の注意	講義では、プログラミングに関する基礎を身につけ、コーディングの手法・アルゴリズムの考え方を説明し、C言語を用いたプログラム作成の基礎力を養い、簡単なプログラムを実装する力をつける。						
教科書・教材	教員自作のプリント、パワーポイントの資料						
授 業 計 画							
回次	授 業 項 目	時間	授 業 内 容				予 習 項 目
1	ガイダンス、ディレクトリ構造とプログラミングの基本	2	1年間の授業の進め方や課題の提出方法を説明する。プログラミングを行うディレクトリの階層構造を理解し、プログラミングの基本手順を習得				
2	printf関数を用いた簡単なプログラムの演習	2	C言語の基本となる部分を理解し、簡単なプログラムは出力できるようにする。				
3	コンパイルとコンパイラ	2	コンパイラの動作を理解する。				
4	変数と関数(識別子のつけ方)	2	変数と関数について理解し、識別子の付け方を習得する。				
5	変数	2	変数に関しての演習を行う。				
6	データ型	2	データ型を理解する。				
7	算術演算子	2	算術演算子を習得する。				
8	前期中間試験	2	これまでの学習項目の理解度を確認する。				
9	定数表現の方法	2	数値定数と文字定数(ASCIIコード)について理解する。				
10	配列	2	配列に関して理解する。				
11	フローチャートと制御文	2	フローチャートの書き方と制御文のif文について理解する。				
12	制御文と関係演算子	2	if文の使い方を習得し関係演算子について学習する。				
13	論理演算子	2	条件判断で使われる論理演算子について理解する。				
14	繰り返し処理	2	for文の使い方を習得し、繰り返し処理に関して理解する。				
15	switch文	2	switch文を理解し、if文との使い分けを行えるようにする。				
期末	前期末試験	[2]	前期中間試験以降の学習項目の理解度を確認する。				
16	while文	2	while文を理解し、for文との使い分けを行えるようにする。				
17	switch文とwhile文の演習	2	switch文とwhile文の演習により理解を深める。				
18	コンソール入出力	2	scanf()などのコンソール入出力を習得する。				
19	コンソール入出力の演習	2	コンソール入出力の演習により理解を深める。				
20	多次元配列と多重ループ	2	多次元配列を理解し、多重ループで利用できるようにする。				
21	関数の構成	2	基本的な関数構成と値を返す方法を理解する。				
22	引数の扱い	2	関数の作り方と引数について理解する。				
23	後期中間試験	2	前期末試験以降の学習項目の理解度を確認する。				
24	関数での配列の扱い	2	関数で配列のデータを扱う方法を理解する。				
25	ポインタ基礎	2	ポインタの基本を理解する。				
26	ポインタ演算子	2	ポインタ演算子の処理を理解する。				

27	配列とポインタ	2	配列特有のポインタを理解する。	
28	ポインタを関数に渡す	2	ポインタ引数などを理解し、演習を行う。	
29	構造体の基本	2	構造体の基本を理解し、データを扱えるように	
30	構造体の演習	2	構造体でデータ管理の演習。	
期末	後期末試験	[2]	後期中間試験以降を中心に、1年間の学習項目の理解度を確認する。	
学習時間合計		60	実時間	50
学修単位における自学自習時間の保証（レポート頻度など）				